

第1回米原市都市計画マスタープラン改定検討委員会 議事録（要旨）

日 時	平成28年1月8日（金）午後1時30分から午後3時45分まで		
場 所	米原市役所 近江庁舎2階 会議室2A		
出席者	委員	12名	1号委員：石井良一委員、轟慎一委員 2号委員：富田茂委員、浅岡英夫委員、高木弘重委員、宇野慶壽委員 3号委員：山口英明委員、奥村勝委員、高橋久美子委員、安田智枝美委員、森口正幸委員（代理） 4号委員：毛利均委員
	事務局	5名	西田副市長（挨拶後退席）、山崎土木部長 都市計画課：木村課長、高橋課長補佐、田中主査
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの改定について ・委員長および副委員長の選出 1 都市計画マスタープランの位置付けおよび構成について 2 本市の現状と課題 3 都市づくりの方向性 4 今後の検討内容 5 都市計画区域の再編について 		
配布資料	次第、座席表、資料1：米原市都市計画マスタープランの改定について、改定検討委員会設置要綱、資料2：第1回改定検討委員会資料、資料3：都市計画区域の再編について		
傍聴者	0人		

【意見内容等（要旨）】

	<p>1 <u>副市長挨拶</u></p> <p>2 <u>委嘱状交付</u></p> <p>3 <u>自己紹介</u></p> <p>4 <u>「都市計画マスタープランの改定について」説明</u></p> <p>5 <u>委員長および副委員長の選出</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長に石井委員、副委員長に轟委員が選出された。 <p>6 <u>委員長挨拶</u></p> <p>これまで都市計画は、国・県の権限が強く、市町村の声が届かなかったが、まちづくりは身近な市町村が自らの意思を反映するものとして都市計画法が改正され、市町村に都市計画マスタープラン（以下、「都市マス」）の策定義務ができた。まちづくりのためには、市民の声を届けて、具体的な土地利用などを決めていくものなので、皆さんからは色んな意見をいただきたい。</p> <p>7 <u>副委員長挨拶</u></p> <p>全国で数少ない人口増加県だった滋賀県も人口減少に突入し、これに対応した行政計画、まちづくりにシフトするとともに、特に都市計画は、従来型の整備拡大の都市計画から大きく転換していかなければならない。子、孫の時代に向けて、地域の在り方を議論し、持続的に進めていくための計画づくりをしていかなければならない。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

8 議題1～3説明

委員長

都市拠点の形成やコンパクト＋ネットワークと言うが、米原駅周辺は都市拠点と言えるのか。ほかの駅周辺は生活の中心という位置付けなのか、どういう整理か。

事務局

米原市では、米原駅を都市拠点、坂田駅を居住地域として都市化を進める一方で、ほかの3駅等の周辺は、機能を分担する地域拠点として位置付けるようなまちづくりが望ましいと考えている。

委員長

米原駅東西の区画整理事業も完了して、交通の利便性が良いと言っても、都市機能の誘導が進まない、事業者が拠点を構えないのはどういう原因や背景が考えられるのか。

事務局

一つは、西口は面的な広がりがあり土地利用しやすいが、東口周辺は面的な広がりが少なく、地形的には商業地域としての魅力が弱いと思われるものと推察される。

委員長

長浜市からの人口流出先は坂田駅周辺や彦根市が多いと聞いている中で、平成22年までのデータでは米原市の人口は増えていないが、それ以降で増えているのか。

事務局

坂田駅周辺では、地区計画制度を活用して、平成24年頃に住宅団地が形成された。また、米原駅東口の丘陵地にも大規模な住宅地ができたことも一因かと考えるが、局所的な増加であり、ほかの地域の減少率が大きいので、全体としては人口減少になっている。

9 各委員意見

委員

浸水想定区域としては、滋賀県で公表した「地先の安全度マップ」もあるので活用した方がいい。人口減少が進めば行政投資の効率が下がるので、各拠点が公共交通で結ばれていれば、できるだけ集約されたまち「コンパクトシティ」の考え方は必要だと思う。また、米原駅周辺が活性化するために、結節点の利点だけでなく、インパクトのある新たなビジョンで、にぎわいが図られることを期待する。活性化すれば、交通の利便性から、都会に仕事は行っても、環境の良い米原市に住んでもらえると思う。

委員

山間部は人口減少が顕著に出ているが、豊かな自然を活かして観光面で引き上げていけたら人口減少も止まるのではないかと。長い視野で取り組んでいければいいと思う。

委員

地域福祉計画でもアンケートと同じような市民の声があった。定住者を増やしていくために、子供からお年寄りまでが参加できる事業を行うことが、市の活性化にもつながると思うので、元気なまちづくりに向けて、みんなで取り組める要素が必要だと思う。

委員

商工会館で貸し出している会議室は、大手企業ของบริษัท説明会や研修会の利用が多く、人気を集めている。それだけ交通の結節点として各方面から集まりやすいと思うので、原点に帰って考えてみる必要があると思う。また、道路では縦の線はあるが、横の線が脆弱で課題と思う。米原駅近くの跨線橋が工事の時は不便だったので、交通網の整備が重要と考える。

委員

米原駅西部の土地区画整理区域には、市街化区域にも関わらず、未だに転用されず農地のままの所がある。農業振興や農地保全の立場と都市計画の立場は違うが、優良農地を保全や農業施策と上手く調整していかなければならない。また、食料品の商業施設はあるが、多種、多機能の商品等が揃う程度の商業施設は近くにあってほしい。

委員

公共交通のバス利用者数は減っている。バス利用に慣れてきた世代の外出が減り、70歳くらいまでは既に車時代の方で、不便というよりも乗り方がわからず不安だと言われる。近年、全線乗り降りできる高校生限定定期券をつくったら利用が増えたので、バスを身近な公共交通として慣れ親しんでもらえる工夫をしていきたい。

委員 事務局 委員	現在の都市マスに構想路線として、国道 21 号バイパスがあるが、どうなっているのか。将来構想ビジョンとして持って国に要望しているが、具体的には目途は立っていない。色んな方針があるが、商工業の発展と、自然・文化の保全は矛盾ではないか。自然豊かな米原市か、人が集まる米原市か、工業発展の米原市か、ポイントを絞った方が良いと思うが。
事務局	どれかに特化する訳ではなく、どれも重要な課題として捉えている。ポイントは、限られた土地をどう活用していくと一番いいのか、メリハリを持って拠点を検討したい。
委員長	工業地や商業地を拠点化して、それぞれのバランスを取って上手くまとめるが、この都市マスが一番の役割。
委員	全国的に人口が減っている中、言わば人口の取り合いのようで、ほかと同じでは人を引き寄せられない。物造りでも同じ。ほかと一線を画す都市マスにしなければならない。自治会でも、自然に人が集まり、出ていかないような魅力ある自治会をつくれれば、それが集まって、ほかに真似できない素晴らしいまちになると思う。
委員	山東地域は誇るべき自然や歴史文化が残っているが、若い人が定着しない。車社会にあって便利な国道沿いには商業施設や新興住宅もできて若い世代も入ってきた一方で、鉄道駅周辺等を拠点・核にすると言っても、東海道線の各駅は米原駅での乗り換えが不便なことや、車移動が多くなったこともあり、以前の鉄道中心の時代とは違い、駅があるから良いという感覚もないように思う。若い人が定着するような工夫もしているが、若い人にとっては働く場所や魅力ある商業施設等が手近に必要なと思う。年配者だけが住みやすい地域でなく、若い人も定着してくれる都市計画になることを望む。
委員	活性化に必要な企業の進出も、地域に消費力がなかったら難しい。実際、新たな工場立地もあったが正社員の雇用は少ない。東口まちづくり構想もあるようだが、工業系より商業・医療、住宅系に力を入れて、例えば市場を開くなど、思い切ったことで活路を開いてはどうか。また、歴史街道などの多くの観光名所を持つ市の魅力を活かして観光客を呼ぶ商業施設をつくと良い。米原駅東口近くの新自治会には、米原市の医療費・保育料無料などの施策に魅力を感じて、大垣等の方面から移住したと言う人もいるので、ハード計画と言うものの、潜在的な魅力も打ち出せる都市マスになったらいいと思う。
副委員長	今日の有意義な意見は総合計画や総合戦略でも上手く反映・連携できると、充実した行政計画になると思う。今後においても、今日の意見が充実した形で収集され、合意形成していくといい。また、アンケート結果の分析においては、もう少し丁寧に課題整理に至る記述にするべき。例えば、アンケートは複数回答にすべきで、単に一番多い選択肢だけではなく、二番三番の意見も拾って反映させた方が分析の記述に説得力が出るので、分析から目標につながるように丁寧に盛り込んでいくべき。一方、市町村のタイプ別の図では、相対的な立ち位置がわかって興味深い。住機能型にある米原市は、どこにまちづくりの視点を置き、何を目指すべきなのかも見えてくると思う。
委員長	平成 19 年から 27 年までの都市計画事業について、項目別に何ができたのか、今後どんな計画があるのかを整理しておいていただきたい。
事務局	各課ヒアリング等を通して、進捗・検証と今後の事業等を整理し、次回お示しする。
	<u>10 議題 4、5 説明</u> (特に意見なし)